

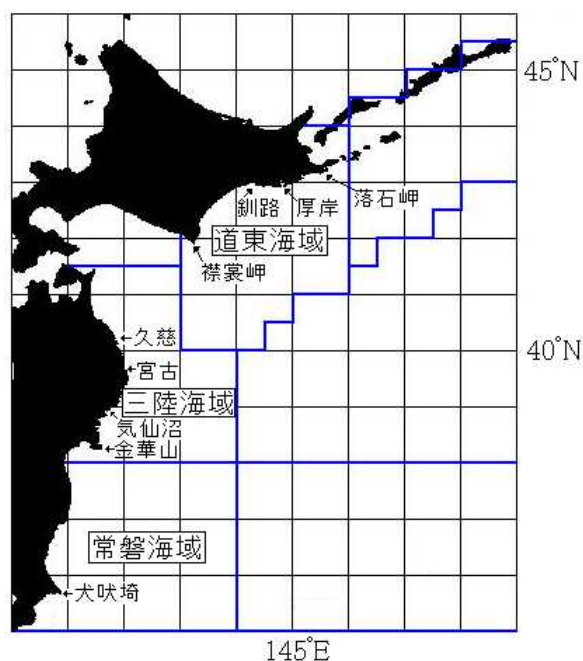
2022年度 第7回サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

今後の見通し(2022年11月中旬～12月下旬)のポイント

来遊量

- ・道東海域では、11月中旬は断続的な来遊があるが、来遊量は少なく、終漁となる。
- ・三陸海域では、11月中旬の来遊量は低位水準であるが、増加する。
- ・常磐海域では、11月下旬になると来遊があるが、来遊量は少ない。



海域の名称

問い合わせ先

一般社団法人漁業情報サービスセンター 水産情報部
担当：渡邊、緑川
電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881
当資料のホームページ掲載先URL
<http://www.jafic.or.jp/information/category/news/>

2022年度 第7回サンマ中短期漁況予報

1. 今後の見通し

予測期間：2022年11月中旬から12月下旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

1) 道東海域

(1) 来遊量

道東海域よりも東～南側の公海における11月中旬の来遊量は、低位水準である。道東海域では、11月中旬は、断続的な来遊がある。多くの魚群は、道東海域よりも東～南側を南下し、道東近海に来遊する群は極めて少ない。

(2) 漁場

11月中旬の主漁場は、道東海域より東～南側の公海となる。道東海域では、11月中旬は襟裳沖に散発的に漁場が形成される。11月下旬以降、漁場は形成されない。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

11月中旬は低位水準で増加し、11月下旬～12月上旬は低位水準で推移する。12月中旬は断続的な来遊となる。

(2) 漁場

11月中旬～12月中旬は、三陸南部に漁場が形成される。12月下旬は、漁場は形成されない。

3) 常磐海域

(1) 来遊量

11月下旬になると、断続的な来遊がある。12月上旬は低位水準で推移する。12月中旬～下旬は断続的な来遊となる。

(2) 漁場

11月下旬～12月中旬は、常磐北部に漁場が形成される。12月下旬は、漁場は形成されない。

2. 予測の概要

海 域		11月中旬	11月下旬	12月上旬	12月中旬	12月下旬
道東海域	来遊量	— →				
	動向	断続的				
	漁 場	襟裳岬沖				
三陸海域	来遊量	→	→	→	— →	
	動向	低位増加	低位水準	低位水準	断続的	
	漁 場	三陸南部	三陸南部	三陸南部	三陸南部	
常磐海域	来遊量		— →	→	— →	— →
	動向		断続的	低位水準	断続的	断続的
	漁 場		常磐北部	常磐北部	常磐北部	

3. 漁況の経過概要（10月下旬）

1) 道東海域

(1) 来遊量

今年は、前年同様、道東海域に漁場は形成されず、道東海域における来遊量は極めて少ない。

主漁場は道東海域より東～南側の公海であった。1日1隻あたり最高で31トン程度と少なく10月中旬よりも少なくなった。CPUE（1網あたりの漁獲量）は10月中旬とほぼ同じであり、前年より少ない水準であった。これらのことから、引き続き魚群は沖合に分布しており、分布量は少なかった。なお11月に入り、オホーツク海の羅臼沖に漁場が形成されている。

(2) 漁場

道東海域に漁場は形成されなかった。主漁場は、道東海域東～南側の公海、落石南南東沖の180～230海里、落石南東沖の210～220海里、落石東南東沖の290～310海里であった。

落石南南東沖の180～230海里の漁場水温16～17℃では、10月28日以降、大型船10～17隻程度と小型船10隻程度操業し、大型船で最高13.5トン、平均2.4トン漁獲した。

落石南東沖の210～220海里の漁場水温13～18℃では、大型船10～45隻程度と小型船数隻～10隻程度操業し、大型船で最高31トン、平均6.7トン漁獲した。

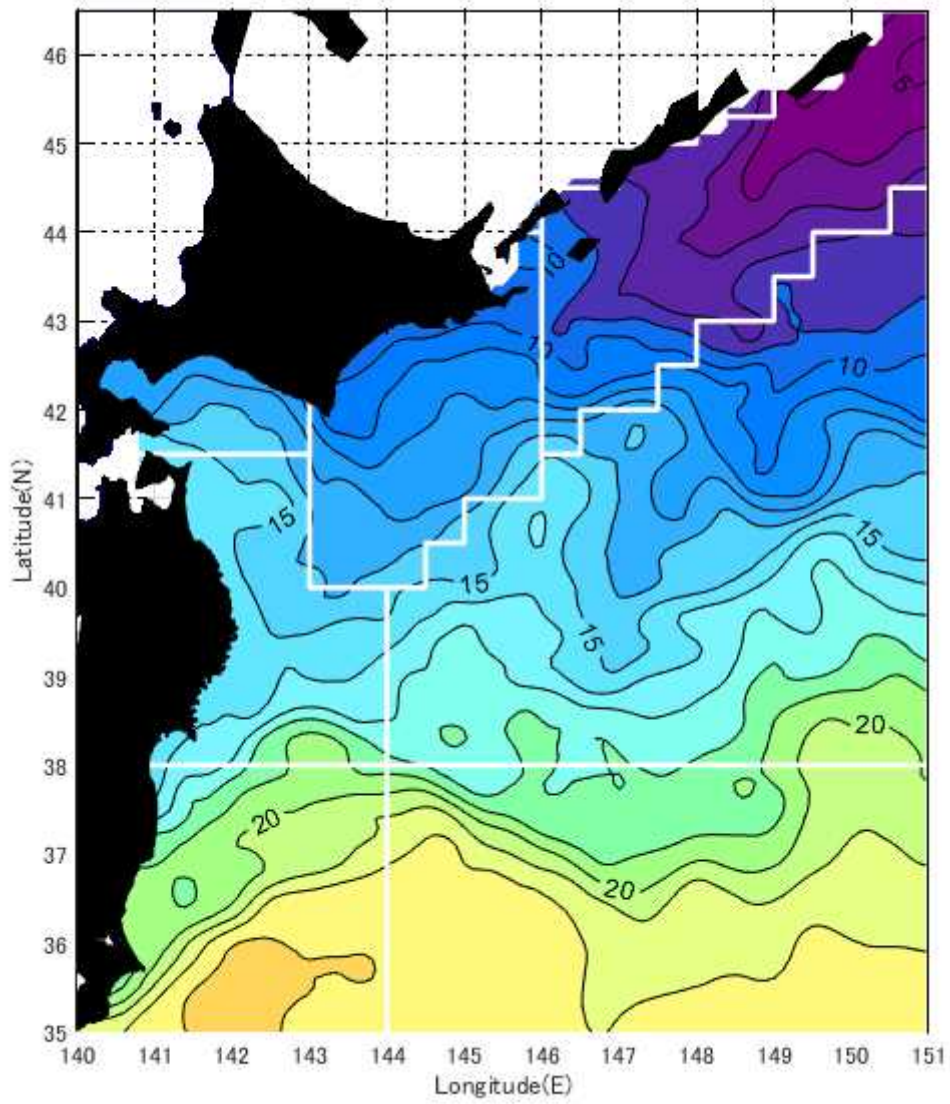
落石東南東沖の290～310海里の漁場水温16～18℃では、10月21～25日夜にかけて大型船数隻～30隻程度操業し、大型船で最高24トン、平均7.4トン漁獲した。

(3) 魚体

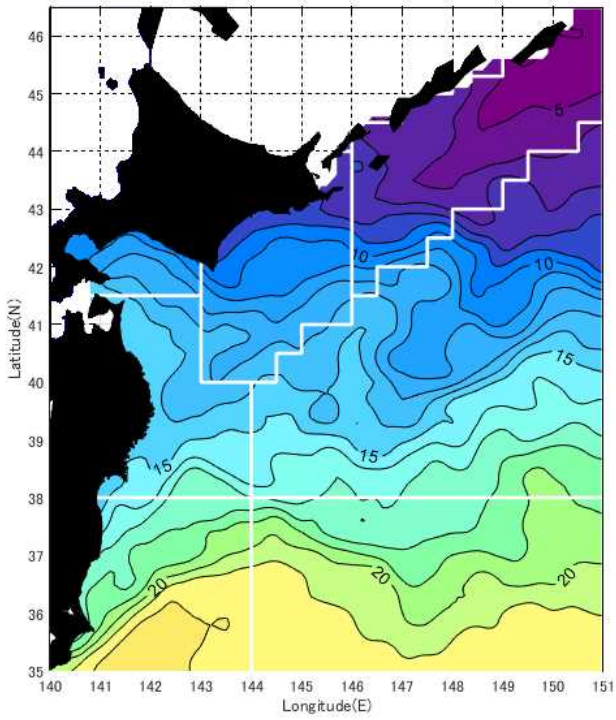
道東海域よりも東～南側では、体長28～29cmモードであった。体重は90～110g台が主体であった。

4. 予測水温分布図

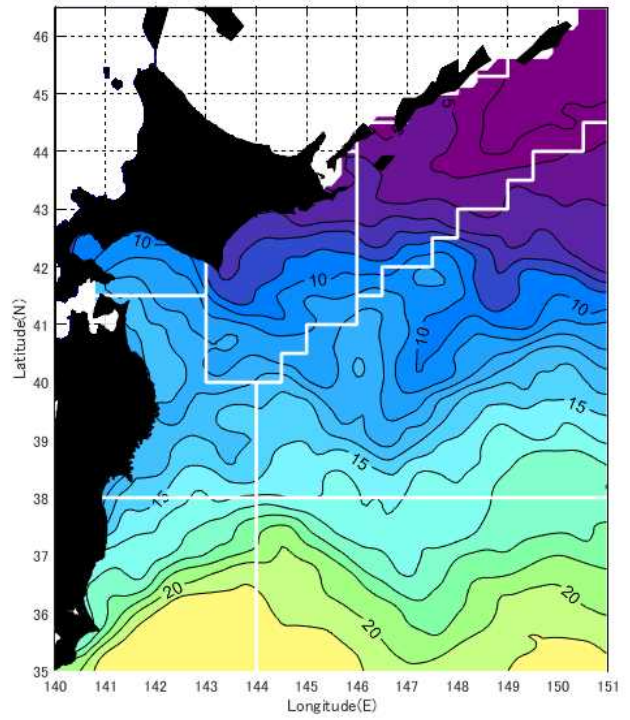
11月中旬予測表面水温分布図



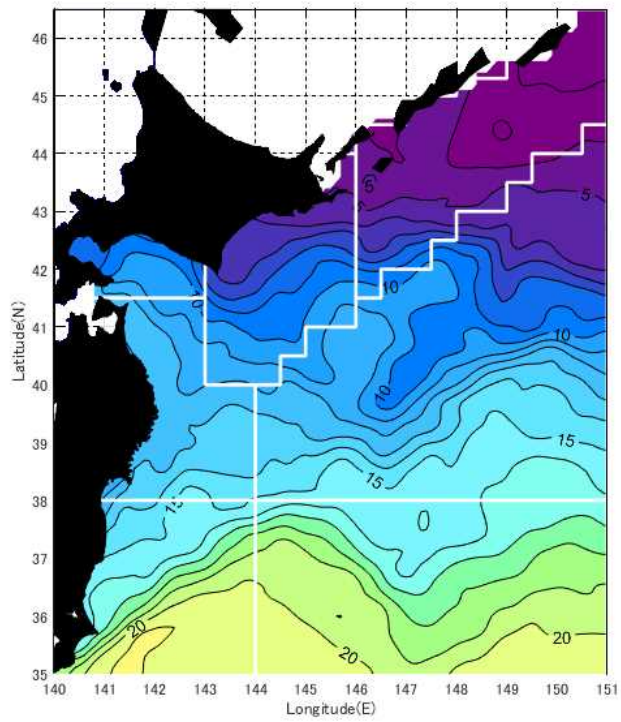
11月下旬予測表面水温分布図



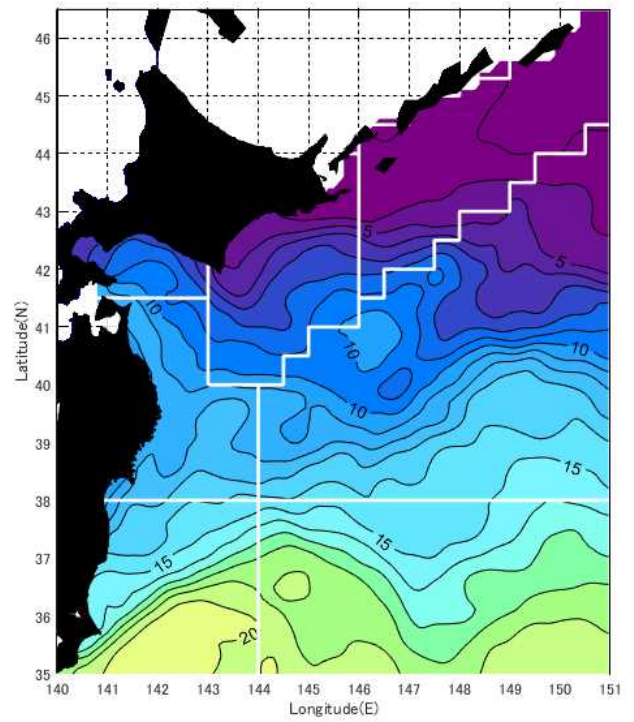
12月上旬予測表面水温分布図



12月中旬予測表面水温分布図



12月下旬予測表面水温分布図



参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産海洋研究センター</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所</p> <p>(取りまとめ機関) 一般社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
--	---